

竹内街道・横大路（大道）1400年活性化プロジェクト通信（VOL.20）

お祭りシーズン到来!!街道沿線の橿原市で、歴史を感じながら夏の大祭を味わおう!!

竹内街道・横大路（大道）沿線の自治体では、このシーズンたくさんのお祭りが開催されています。今回は、奈良県橿原市のお祭りを3つご紹介させていただきます。

歴史の魅力を感じに、橿原市を訪れませんか！

● 大日さん（小綱町 正蓮寺）7月15日

正蓮寺のご本尊である大日如来の命日が7月15日であることから、毎年7月15日に夏の大祭として「大日さん」が行われます。

大日堂と大日如来坐像は15世紀半ばの作品で国の重要文化財に指定されています。



● 小房観音夏祭り（小房町 おふさ観音）7月17日

江戸時代よりおふさ観音に伝わる夏祭りです。身体健全のお加持が受けられる夏の夜祭で、境内にたくさんの露店が並んで賑わいます。

本尊である十一面観音は、もともと身体に健康を授けると言われていましたが、近年ではそれ以外に厄除け、子授け、長寿と老人病封じを願う人々が多く訪れるようになり、大和ぼけ封じ霊場会の札所にもなっています。



● でんそそ祭り（大谷町 畝火山口神社）7月28日

「お峯のでんそそ」と呼ばれる近隣一帯の夏祭りです。毎年7月28日に畝火山口神社で奉納行事などが行われます。中心行事として「お水取り」という神水汲みの神事があり、26日の早朝に神官らが吉野川に水汲みにいきます。

「でんそそ」とは、お峯で打ち鳴らす太鼓の音が「でんそそ」と聞こえたことからこの名前がついたと伝わっています。



竹内街道・横大路 難波から飛鳥へ日本最古の官道「大道」1400年活性化実行委員会

大阪府と奈良県を東西に結ぶ竹内街道・横大路（よこおおじ）は、「日本書紀」の推古天皇21年（613年）の条に「難波（なにわ）より京（飛鳥）に至る大道（おおじ）を置く」と記された「大道」のルートと重なることから、日本最古の官道と呼ばれています。

「大道」が敷設されてから、平成25年（2013年）に1400年の節目を迎えることを契機として、府県を越えて大道沿線の10市町村（大阪市・堺市・松原市・羽曳野市・太子町・葛城市・大和高田市・橿原市・桜井市・明日香村）と大阪府、奈良県の首長などが参集し、「竹内街道・横大路 難波から飛鳥へ日本最古の官道「大道」1400年活性化実行委員会」を発足して、連携しながら周辺地域の魅力を再発掘し、街道の魅力を高め、地域活性化等に繋げる取り組みを進めております。

文責：竹内街道・横大路（大道）1400年活性化実行委員会